

第1回標準型電子カルテ検討技術作業班 アンケート結果概要

1. 第1回標準型電子カルテ検討技術作業班に際して実施した医療機関等ベンダー向けのアンケート・ヒアリング（以下、「ベンダー向けアンケート」という。）においては、α版を短期間で開発するため、α版の対象を無床の診療所にすべきという意見が複数挙がった。

観点	質問	回答（一部抜粋）
標準型電子カルテシステム全般について	対象施設、スケジュール、開発・提供主体等について意見はありますか。	<ul style="list-style-type: none">• 工程がタイトであるため、外来機能のみ先に提供するなどの配慮が必要である。• 1年間で開発するスケジュールを考慮すると、α版の対象は外来のみの無床診療所とするなど開発範囲を絞る必要がある。• 病床の有無等で開発工数が変わるため、一般診療所から段階的にスタートするのが望ましい。

2. ベンダー向けアンケートにおいては、部門システム等との連携についての課題となる意見が複数挙がった。

観点	質問	回答（一部抜粋）
標準型電子カルテシステムと他システム（UI/UX等のフロントシステムや、部門システム等）との連携について	APIのコンセプト、連携先システム/モジュールの現状を踏まえ、課題や留意点はありますか。	<ul style="list-style-type: none">• 部門システムとの連携に際しては標準化されたAPI・コード体系を採用することが不可欠だが、現状では標準規格に準拠した部門システムが少ないため、部門システムとの調整が必要。• 連携先システムとのデータに差異が生まれないようにする工夫が必要。
	標準型電子カルテシステムはクラウド上に構築する想定であるところ、連携先システムの構成を踏まえ、課題や留意点はありますか。	<ul style="list-style-type: none">• 暗号化方式も含め、セキュリティについて連携先システムとの合意形成が必要。